



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 シャルレ

コード番号 9885 URL <http://www.charle.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 奥平 和良

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 岩永 信幸

TEL 078-792-8565

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	9,576	△5.3	286	△7.6	304	△7.2	90	△61.5
25年3月期第2四半期	10,108	△5.1	310	△53.3	328	△52.0	234	△59.5

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 114百万円 (△69.5%) 25年3月期第2四半期 375百万円 (△41.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	4.73	—
25年3月期第2四半期	12.26	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	23,415	19,350	82.6	1,009.66
25年3月期	23,868	19,811	83.0	1,033.70

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 19,350百万円 25年3月期 19,811百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	△6.0	430	△41.4	470	△39.6	150	△64.2	7.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	21,034,950 株	25年3月期	21,034,950 株
26年3月期2Q	1,869,128 株	25年3月期	1,869,039 株
26年3月期2Q	19,165,869 株	25年3月期2Q	19,166,003 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の増加や各種経済対策の効果に対する期待感などから、景気の緩やかな回復が見られました。一方、海外経済においては、中国の景気減速など、景気の下ぶれリスクが依然として懸念される状況にあります。

このような経営環境のもと、当社企業グループは「美と健康」の事業領域を中心に、人々の豊かさを追求する企業として、独自性のある商品の開発・提供、魅力的なサービスやビジネスシステムの提供を行うことで「美しく健康的な生活」を提案してまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社企業グループの売上高は95億76百万円（前年同四半期比5.3%減）、営業利益は2億86百万円（同7.6%減）、経常利益は3億4百万円（同7.2%減）、四半期純利益は海外レディースインナー等販売事業からの撤退にともなう特別損失の発生等により90百万円（同61.5%減）となりました。

#### (国内レディースインナー等販売事業)

国内レディースインナー等販売事業におきましては、販売組織の再活性化と収益構造の改善を方針に掲げ、事業を行ってまいりました。従来どおり「美と健康のシャルレ」として、健康関連分野の商品や化粧品等、機能性が高く、かつ独自性のある商品の開発・提供をより一層強化するとともに、次世代を担うビジネスメンバーの育成や、新たなターゲット層への商品開発等にも積極的に取り組んでまいりました。

繊維系の商品におきましては、前期に引き続き、健康関連分野の商品の拡充を図りました。4月には、ウォーキング等の軽運動に適した商品として「サポートウォーク ウエア 2013春夏」、5月には、姿勢意識インナーに夏仕様のキャミソールタイプを、6月には、肩ストレッチインナーに半袖タイプを追加発売いたしました。また、健やかな睡眠をサポートする商品として、抗菌防臭加工を施したガーゼ素材等のタオルケットとシーツを発売したことにより、タオル類の売上が増加いたしました。

9月には、補整力と着用感に優れ、高級感のある華やかなデザインを特長とするファンデーション・インナーの「ドゥヴァンナシリーズ」が発売から15年になるのを機に、カラーやレースデザインをリニューアル発売し、売上が増加いたしました。一方、カットソーやパンツを中心とするアウターシリーズ「シャルレドレス」の販売が不振となった影響により、繊維系商品全体では売上が減少いたしました。

化粧品類につきましては、前期に発売いたしました基礎化粧品の「エタリテ ラインII」を中心にエタリテシリーズの売上が好調で、前年実績を上回りました。また、6月には、ヘアケアシリーズの「シャルエーゼ」に「頭皮クリアクレンジング」を発売し、アイテムの拡充を図りました。一方、高価格帯の「エタリテ オーラマージュ シリーズ」の定番商品や限定セット商品の販売が不振となったことにより、化粧品全体では売上が減少いたしました。

営業施策面におきましては、4月に全代理店を対象とした「第30回シャルレ代理店セミナー」を実施し、中期経営方針や各種施策の共有化を図るとともに、代理店との一体感を醸成し、活動意欲の向上を図りました。販促面におきましては、化粧品類の販売活動を支援する新たなボーナス制度の導入を発表し、販促意欲を喚起いたしました。また、前期に引き続き新メイト育成キャンペーンを実施するとともに、ビジネスメイトの育成策として、ビジネス説明会等の会合への動員を強化してまいりました。さらに、シャルレの認知度向上を目的に、テレビコマーシャルの放映を行ってまいりました。

このように、積極的な事業展開を行ってまいりましたが、国内レディースインナー等販売事業の売上高は95億17百万円（前年同四半期比3.1%減）となり、さらに在庫評価損が増加したこと等により、営業利益は3億57百万円（同29.1%減）となりました。

#### (海外レディースインナー等販売事業)

海外レディースインナー等販売事業におきましては、中国の百貨店での店舗販売を、上海の旗艦店を中心に行ってまいりました。

かねてからの課題であった収益性の改善に関して、不採算店舗の整理・撤退や、本部費用の削減を図った結果、海外レディースインナー等販売事業の売上高は58百万円（前年同期比10.7%減）、営業損失は28百万円（前年同期は37百万円の営業損失）となりました。

早期の事業黒字化を目指して取り組んでまいりましたが、百貨店での婦人下着業界の競争激化や、一部店舗での不買運動の影響により売上高が低迷いたしました。その結果、収益の改善には至らず、事業の黒字化が見込めないことから、当社は平成25年8月29日開催の取締役会において、香羅奈（上海）国際貿易有限公司が運営する中国におけるレディースインナー等販売事業の撤退を決議しております。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債および純資産の状況

総資産は、現金及び預金の減少2億35百万円、商品の増加1億94百万円、流動資産その他の減少2億35百万円等により、前連結会計年度末に比べ4億53百万円減少して234億15百万円となりました。

負債は、流動負債その他の増加1億53百万円、長期未払金の減少1億48百万円等により、前連結会計年度末に比べ7百万円増加して40億64百万円となりました。

純資産は、四半期純利益90百万円、利益配当金5億74百万円等により、前連結会計年度末と比較して4億60百万円減少し、193億50百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の83.0%から82.6%に下降しました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前年同四半期連結累計期間に比べ3億50百万円減少し、33億83百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、5億49百万円の増加(前年同四半期は2億72百万円の減少)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益1億26百万円、減価償却費及びその他の償却費2億13百万円、たな卸資産の増加額3億円、前受金の増加額1億24百万円であります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、2億66百万円の増加(同10億6百万円の増加)となりました。主な要因は、定期預金の減少5億円、無形固定資産の取得による支出2億円であります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、5億96百万円の減少(同5億75百万円の減少)となりました。主な要因は、配当金の支払額5億61百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年10月30日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,908	7,672
売掛金	133	109
有価証券	2,409	2,410
商品	4,750	4,944
貯蔵品	34	27
繰延税金資産	486	486
その他	457	221
貸倒引当金	△13	△17
流動資産合計	16,166	15,855
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,324	1,293
土地	907	907
その他（純額）	528	461
有形固定資産合計	2,760	2,662
無形固定資産		
その他	756	807
無形固定資産合計	756	807
投資その他の資産		
投資有価証券	2,495	2,469
前払年金費用	717	695
繰延税金資産	427	427
その他	558	509
貸倒引当金	△11	△12
投資その他の資産合計	4,185	4,089
固定資産合計	7,702	7,560
資産合計	23,868	23,415

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,062	1,095
未払金	1,424	1,372
未払法人税等	30	53
賞与引当金	185	226
事業整理損失引当金	—	29
その他	226	379
流動負債合計	2,929	3,157
固定負債		
売上割戻引当金	214	213
退職給付引当金	470	437
長期末払金	208	60
その他	234	195
固定負債合計	1,127	906
負債合計	4,057	4,064
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,600	3,600
資本剰余金	4,897	4,897
利益剰余金	12,789	12,305
自己株式	△1,295	△1,295
株主資本合計	19,992	19,507
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△133	△155
為替換算調整勘定	△47	△1
その他の包括利益累計額合計	△180	△156
純資産合計	19,811	19,350
負債純資産合計	23,868	23,415

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	10,108	9,576
売上原価	5,222	5,110
売上総利益	4,886	4,466
販売費及び一般管理費	4,575	4,179
営業利益	310	286
営業外収益		
受取利息	15	12
受取配当金	0	0
雑収入	11	10
営業外収益合計	27	23
営業外費用		
支払利息	1	1
為替差損	1	—
社宅解約損	1	1
持分法による投資損失	4	—
雑損失	0	2
営業外費用合計	9	5
経常利益	328	304
特別損失		
固定資産除却損	4	0
投資有価証券評価損	0	—
関係会社出資金売却損	57	—
事業整理損	—	127
事業整理損失引当金繰入額	—	29
店舗閉鎖損失	—	21
特別損失合計	62	178
税金等調整前四半期純利益	265	126
法人税、住民税及び事業税	30	35
法人税等合計	30	35
少数株主損益調整前四半期純利益	234	90
四半期純利益	234	90

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	234	90
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	134	△22
為替換算調整勘定	4	45
持分法適用会社に対する持分相当額	0	—
その他の包括利益合計	140	23
四半期包括利益	375	114
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	375	114
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	265	126
減価償却費及びその他の償却費	201	213
受取利息及び受取配当金	△15	△12
固定資産除却損	4	0
関係会社出資金売却損益 (△は益)	57	—
事業整理損失	—	127
事業整理損失引当金繰入額	—	29
店舗閉鎖損失	—	21
売上債権の増減額 (△は増加)	△61	23
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△962	△300
前払年金費用の増減額 (△は増加)	56	21
仕入債務の増減額 (△は減少)	810	33
未払金の増減額 (△は減少)	△521	△140
前受金の増減額 (△は減少)	△1	124
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△0	22
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△13	△32
その他	△91	306
小計	△273	562
利息及び配当金の受取額	16	14
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△14	△14
その他	△1	△12
営業活動によるキャッシュ・フロー	△272	549
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	1,200	500
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	2	3
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△3	—
有形固定資産の取得による支出	△126	△29
無形固定資産の取得による支出	△119	△200
関係会社出資金の売却による収入	78	—
その他	△24	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,006	266
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△574	△561
リース債務の返済による支出	—	△34
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△575	△596
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	45
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	164	265
現金及び現金同等物の期首残高	3,569	3,117
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,733	3,383

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内レディース スインナー等 販売事業	海外レディース スインナー等 販売事業	LED照明 販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,824	65	218	10,108	—	10,108
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	17	—	—	17	△17	—
計	9,842	65	218	10,126	△17	10,108
セグメント利益又は 損失(△)	504	△37	△69	397	△87	310

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額には各報告セグメントに配分していない全社費用87百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内レディース インナー等販売 事業	海外レディース インナー等販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,517	58	9,576	—	9,576
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1	—	1	△1	—
計	9,518	58	9,577	△1	9,576
セグメント利益又は 損失（△）	357	△28	328	△41	286

(注) 1 セグメント利益又は損失（△）の調整額には各報告セグメントに配分していない全社費用41百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

（報告セグメントの変更）

第1四半期連結会計期間より報告セグメントとして記載する事業セグメント「LED照明販売事業」を廃止しております。

これは、LED照明販売事業を営む株式会社シャルレライテックを平成24年12月3日付で外部に譲渡したことによるものであります。

これにより、第1四半期連結会計期間より「国内レディースインナー等販売事業」、「海外レディースインナー等販売事業」の2つを報告セグメントとしております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

海外レディースインナー等販売事業において、中国における同事業の事業構造改革の一環で閉鎖を決定した店舗設備の減損損失9百万円を店舗閉鎖損失として特別損失に含めております。また、中国における同事業からの撤退の意思決定にともない、減損損失14百万円を事業整理損として特別損失に含めております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において23百万円であります。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。